

第3次始良市総合計画(素案)に対する意見募集の実施結果と市の考え方について

「第3次始良市総合計画」を策定するにあたり、始良市パブリックコメント実施要綱に基づき素案を公表し、広く市民の皆様の意見を伺うパブリックコメントを実施しました。ここに、ご提出いただいたご意見とそれに対する市の考え方をとりまとめましたので、次のとおり公表します。なお、ご提出いただいたご意見等は、趣旨を損なわない程度に要約させていただいております。また、類似のご意見につきましては、まとめております。

1 パブリックコメント集計結果

(1) 実施期間

令和8年9月3日(木)から令和8年10月2日(金)まで

(2) 提出方法、提出人数及び意見の数

提出方法	提出人数(人)	意見件数(件)
持参		
郵送		
FAX		
電子メール		
インターネット入力フォーム	1	3
合計	1	3

2 意見等の概要と市の考え方

NO	ページ・箇所	意見等の概要	市の考え方
1	P33「取組内容」の「Ⅱ 移住・定住の促進」	P33 で地域おこし協力隊制度の活用が謳われているが、これまで本市では当該制度を導入していなかったため、根拠やこれまでの移住支援施策に対する評価が、導入に当たってどのように総括されたのか知りたいです。なぜ今、協力隊を必要とするようになったのか、その経緯を知りたいです。	中山間地域においては高齢化が進む中、地域内の人材だけでは地域活性化に向けた取り組みに限界があり、地域からも地域外からの人材支援の声が上がっていることから、本制度を導入する計画といたしました。

2	P22「目標指標」、 P49 全体	P22 で地区防災計画を全コミュニティ協議会で策定させる、P49 の災害に強いまちづくりの推進というように、今次計画では防災を重視していることが特徴的だと感じられます。	災害に強いまちづくりの推進を図ることから、全校区コミュニティ協議会での地域防災計画の策定を目標指標として設定しております。
3	P29「取組内容」の「Ⅲ 家庭・地域・事業者と連携した学びの環境整備」	今計画において、特認校制度を維持していく方針が示されたことは、中山間地域の防災・共助の拠点を死守するものだとして受け止めました。人材の枯渇や環境の荒廃が心配される中山間地域に、現在本市は幸いにして特認校が5校設置されています。小学校は、地域コミュニティの活性化の推進力として現在も機能していますが、災害時の避難所にもなる小学校は、地域の防災力の強化に資するものであってほしいと思い、特認校のある校区コミュニティへの優秀な人材の配置や地域おこし協力隊へのミッションの設定も進めていければ、本市の強みに磨きがかかるものと思います。	小学校は地域コミュニティの活性の場として機能しています。中山間地域における校区コミュニティ協議会の活動においては、特認校制度の維持・活用は必要であります。また、地域おこし協力隊への取組も推進したいと計画しております。